

白百合学園中学校
OGレポート

夢は“医師でバイオリニスト”

小林 香音さん 慶應義塾大学医学部 1年

中学1年で出会った大切な親友

私は小学校から白百合学園に入学したのですが、中学にあがる時、中学校から入学した子たちと仲良くなりたくわくわくしていました。小学校から進学した子のみでグループになるということは全くなく、皆すぐに仲良くなりましたね。

私が今お互いにとても良い刺激を受けている大切な親友と出会ったのも中学1年の時でした。彼女は中学から入学してきたのですが、大変な努力家で、定期試験でどの教科もとてもよい成績をとっていました。彼女は授業でわからないことがあるとすぐに先生に質問して、その場で問題を解決するのです。そうした勉強への姿勢や切り替えの早さ、ちょっとした空き時間の使い方など、彼女を見習ったことや影響を受けたことはたくさんあります。

バイオリン=私のアイデンティティー

幼い頃から医師に対する憧れを持っていました。バイオリンは小学校1年生で始めましたが、本格的に取り組むようになると「医師でバイオリニストになる」というのが将来の夢になっていました。両親は医師でもないですし、音楽関係の仕事でもありませんが、私が両立したいと決めた時も「やりたいことをやりなさい」と、いつでも私を全面的に応援してくれました。

受験勉強一本にしばったのは、高2の冬です。バイオリンの練習をしていた時間を全て受験勉強に切り替えました。バイオリンの先生は、それまでの練習年数から1年程度ならバイ

オリンから離れても blanks は埋められるから、現役で受かって戻ってきなさい、と後押ししてくださいました。バイオリンではコンクールなど、一度きりの本番に向けて練習を続けてきました。日々の練習で培われた集中力や忍耐力、緊張する中でも乗り越えてきたバイオリンでの経験が、一度きりの大学受験という舞台でも、体力的、精神的に私を支えてくれました。

個性を認め合う「先生と友人」の存在

白百合学園には部活やスポーツ、私のように音楽、芸術といったことにも力を注いでいる生徒がたくさんいます。学業とバイオリンの両立は大変ではありましたが、友人や先生方はとても理解があり、いつでも温かく私を応援してくれました。

白百合学園の生徒たちはベタベタするのではなく、みんな適度な距離を保ってお互いの個性を認め合っています。また、大人しいというイメージがあるかもしれませんが、皆いつも明

るく元気で活発です。しかし知らず知らずのうちに礼儀やマナーは身につけていたんだと、卒業してから感じることが多いです。

医師として、バイオリニストとして

まず医師になる夢は大学に入学できたことで、叶えられる道が見えましたが、バイオリニストとしてのキャリアをどうやっていくかが現在の私の課題です。今は受験勉強での blanks を埋めるために朝と帰宅後のできる限りの時間を使い、新たな目標に向かってバイオリンの練習に励んでいます。また、医学部内で楽器を演奏する仲間と室内楽にも取り組み始めました。一流の音楽家として活躍できるように、今後は音楽を深く勉強し、技術も向上させていきたいと思っています。将来は医学と音楽を通して私ならではの貢献がしたいです。患者さんを始めとして、聴いてくださる方々を癒し、心に響くような演奏ができたらと思います。



小林 香音さん



6年後
夢をかなえる
中学校

夢中

白百合学園中学校

東京都 千代田区 女子校



入試広報部長
田畑 文明 先生

大切にしているのは「折衷」

本校は136年の歴史があるカトリックの学校で、キリスト教の「愛の教え」に基づき、将来社会で人々の幸せのために奉仕することができる女性に育成を実践しています。学力だけでなく、行事や部活動などを通して、他の人々のためにどう生きるかという使命を探求する全人教育に取り組んでいます。入学前にキリスト教の知識がなくても全くかまいません。本校で愛の教えを学ぶことで、自分だけが



生徒からも人気の制服(写真は夏服)

を深め、語学を学ぶ楽しさを知ることができるので、2つの言語を学ぶことには大きな意味があると考えています。中学から入学した生徒に本校

英・仏の両言語を学習しその文化を学ぶ

フランス人のシスターが創立した学校という歴史的な経緯もあり、中学3年間は英語を週5時間、フランス語を週1時間学習し、両言語とも「読む・書く・聞く・話す」の4技能をバランスよく鍛えまます。それぞれ背景の違う言語を学ぶことで異文化への理解を深め、語学を学ぶ楽しさを知ることができるので、2つの言語を学ぶことには大きな意味があると考えています。中学から入学した生徒に本校を志望した理由を聞くと、「フランス語が学べるから」と答える生徒も多いんですよ。

お互いの個性を認め合う雰囲気

本校には併設の小学校から進学する生徒が6割、中学受験を経て入学する生徒が4割います。「小学校から進学する生徒となじめますか」という質問もよく受けるのですが、気にされる必要はありません。入学直後に設ける三日間のオリエンテーションの間にすぐ学校になじめているように思いますし、遠足、合唱祭といった行事とともに経験することで併設小から進学する生徒たちとも自然と親しくなっています。白百合学園はお互いの個性を認め合うあたたかい雰囲気があり、出る杭が打たれるということもありません。そのような環境の中で、人間として大切なことを身につけていく、本校の教育理念に興味をお持ちいただけると、ぜひ一度本校に足をお運びください。

全校生徒参加のクリスマス奉仕活動



クリスマスミサの様子
クリスマス奉仕活動でのローズウィンドウ制作

白百合学園では、毎年クリスマスの時期に全校生徒が必ず参加する奉仕活動を行っています。奉仕活動を通して、「受けるよりも与えるほうが幸いである」という、他の人に尽くすよるこびを知ってほしいという思いが込められています。

白百合学園 中学校の魅力

SCHOOL DATA

白百合学園中学校
〒102-8185
東京都千代田区九段北2-4-1
TEL. 03-3234-6661
JR総武線 他「飯田橋駅」西口より
徒歩10分
東京メトロ東西線 他「九段下駅」1番出口より
徒歩10分

建学の精神とつながる白百合の国際教育

「世界の隣人と共に生きる女性の育成」を目標に掲げる同校では、外国語を使ってコミュニケーションする力を伸ばし、異文化に対して開かれた心を育てています。生徒が国際社会へ自信をもって羽ばたいていけるよう、様々なプログラムを実施しています。



米国スミスカレッジプログラムの様子

創立時から続くフランス語教育

創立時からフランス語教育を行ってきた白百合学園。中学では必修で、高校では第一外国語として選択することもできます。また、日仏短期交換留学プログラムや、フランス語フェスティバルなどのプログラムもある同校では、中高で学んだフランス語を生かして仕事に就く卒業生が多数います。



日仏短期交換留学プログラムの様子